

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター

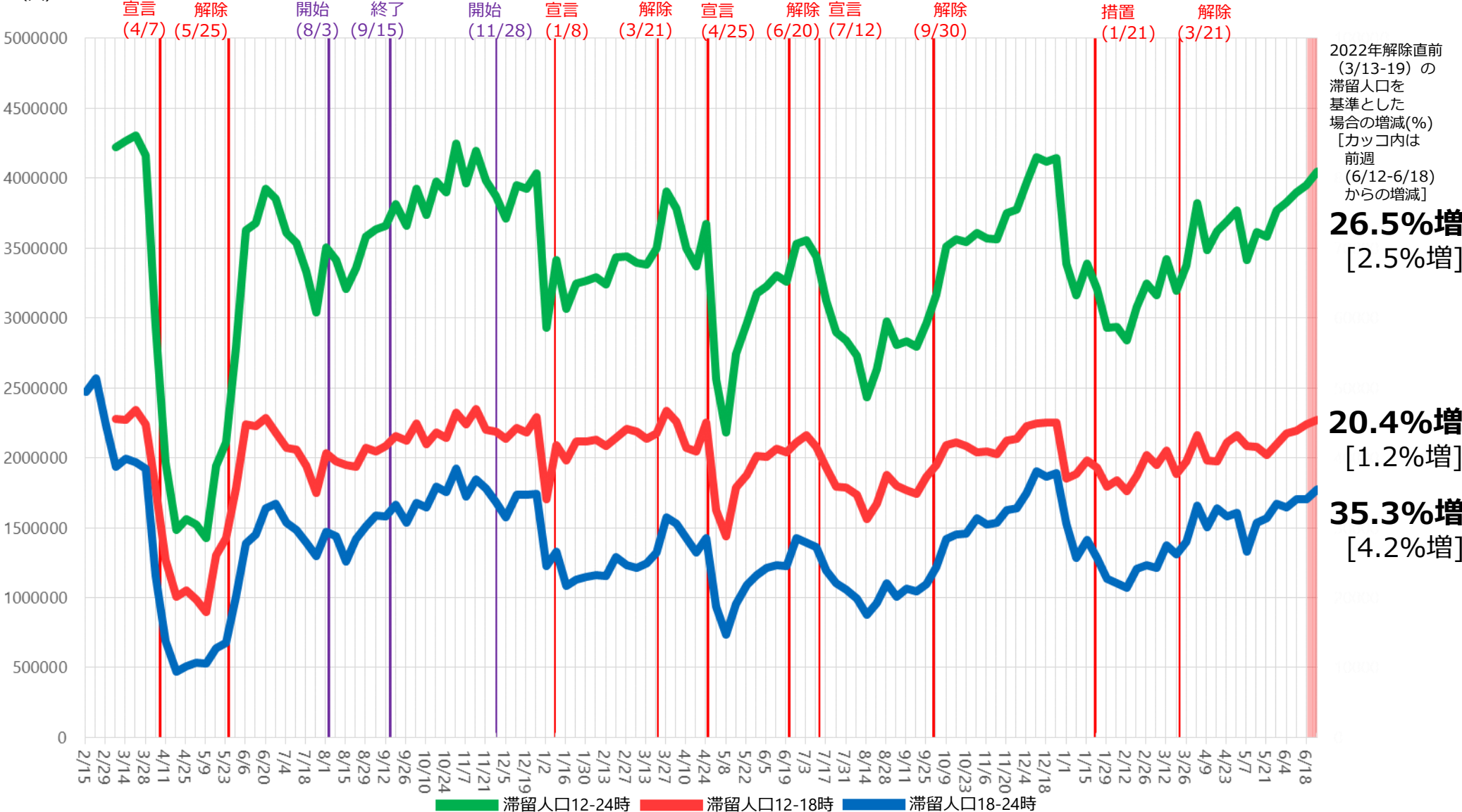
東京都内・主要繁華街 滞留人口モニタリング (6月26日までのデータ分析：要点)

【直近の繁華街滞留人口の状況】

- 夜間滞留人口（18-24時）：前週より急増し（前週比：4.2%増）、GW前の水準をすでに10%程度上回る。新型コロナ流行前の2019年同時期水準に比べ 37.2%低い水準。梅雨明けによるハイリスク滞留人口の増加ペースが加速しており警戒が必要。
- オミクロン株感受性滞留人口（実効滞留人口）：6月第2週以降、免疫獲得率が緩やかに減衰しはじめている中で深夜帯滞留人口が顕著に増加しているため実効滞留人口も上昇。実効再生産数の上昇と連動。
- 昼間滞留人口：先週より微増（前週比：1.2%増）。GW前の水準より5%近く増加。
- 夜間滞留人口・世代別占有率：世代別占有率は、若年層では横ばい～微増、中高年層・高齢者層では横ばい～微減。実数では、若年層・中高年層が増加し、連休前のピークの水準を超えつつある。
- 繁華街別夜間滞留人口：上野・新宿二丁目・歌舞伎町・池袋・新橋で増加。これまで横ばいで推移していた歌舞伎町の滞留人口が顕著に増加しはじめている。

時間帯別主要繁華街滞留人口の推移：東京（2020年3月7日～2022年6月25日）

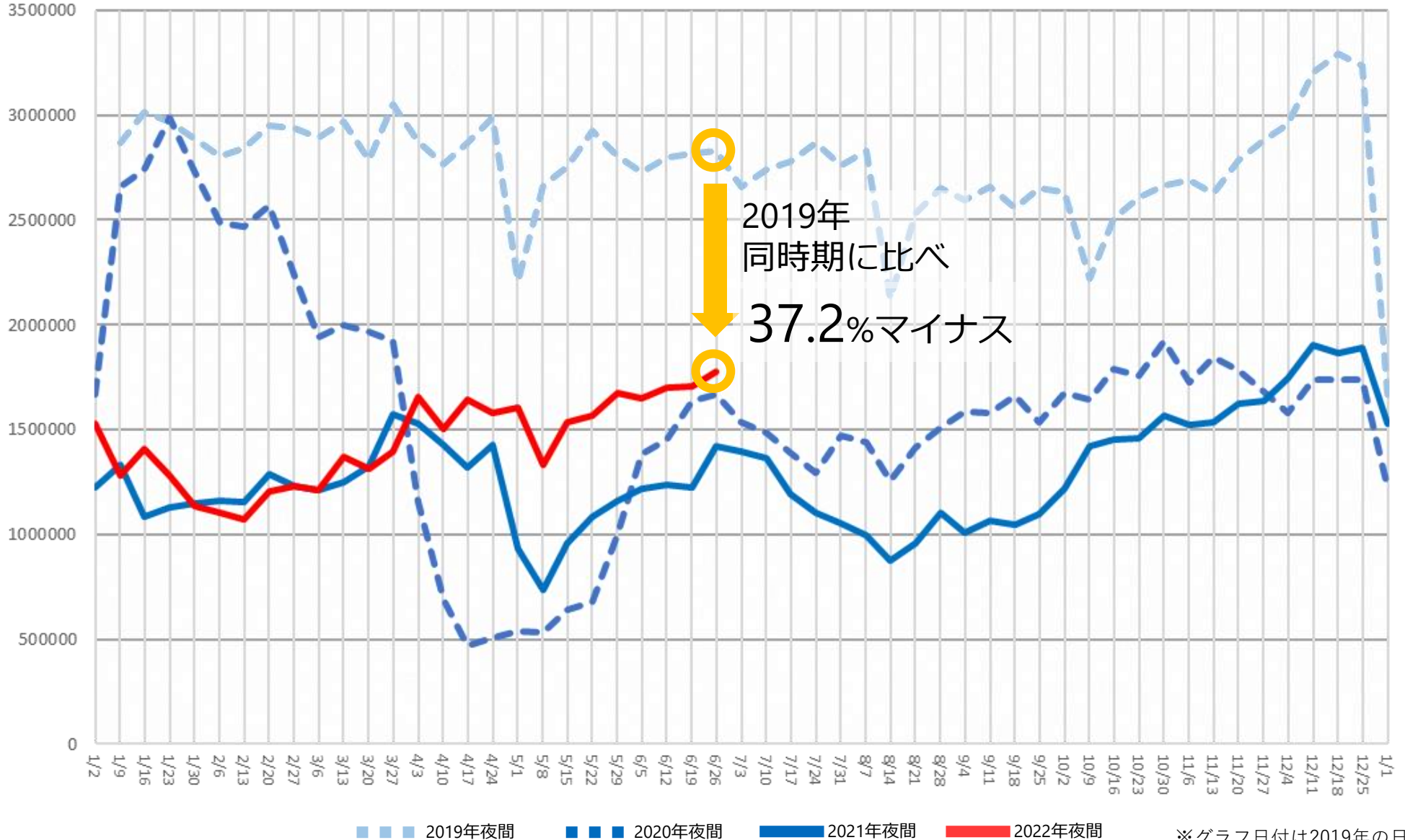
繁華街
滞留
人口
(人)



※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

繁華街夜間滞留人口（18-24時）東京：2019年以降の推移（2019年1月6日～2022年6月25日）

繁華街
滞留人口
(人)



※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

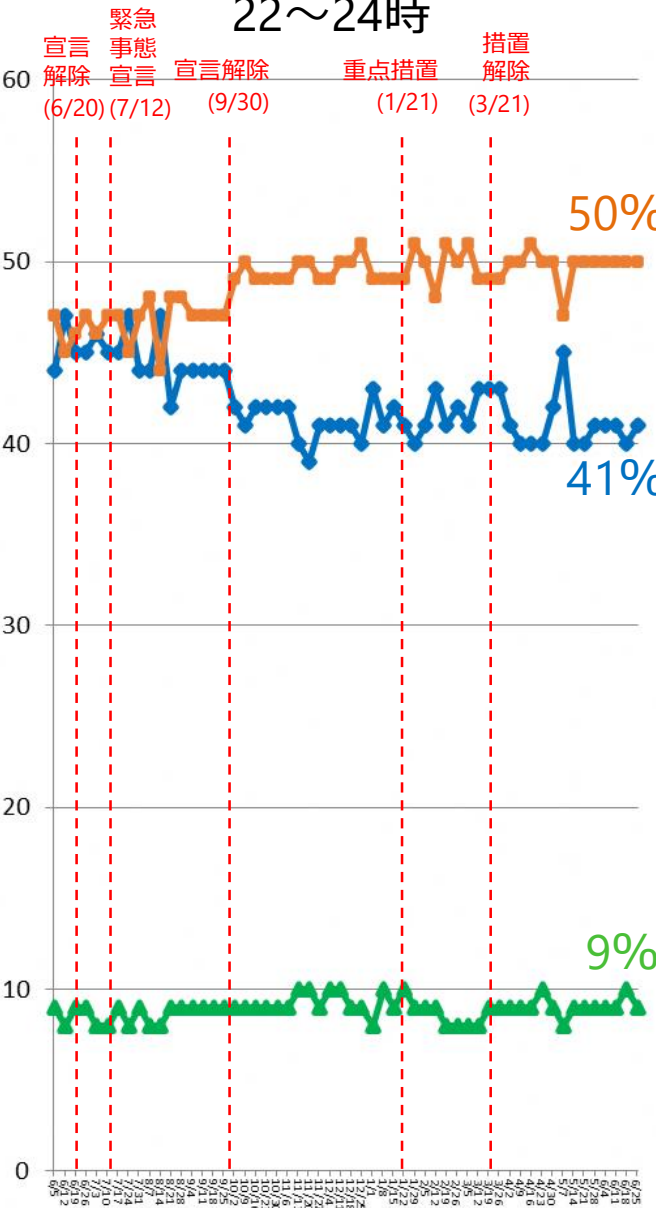
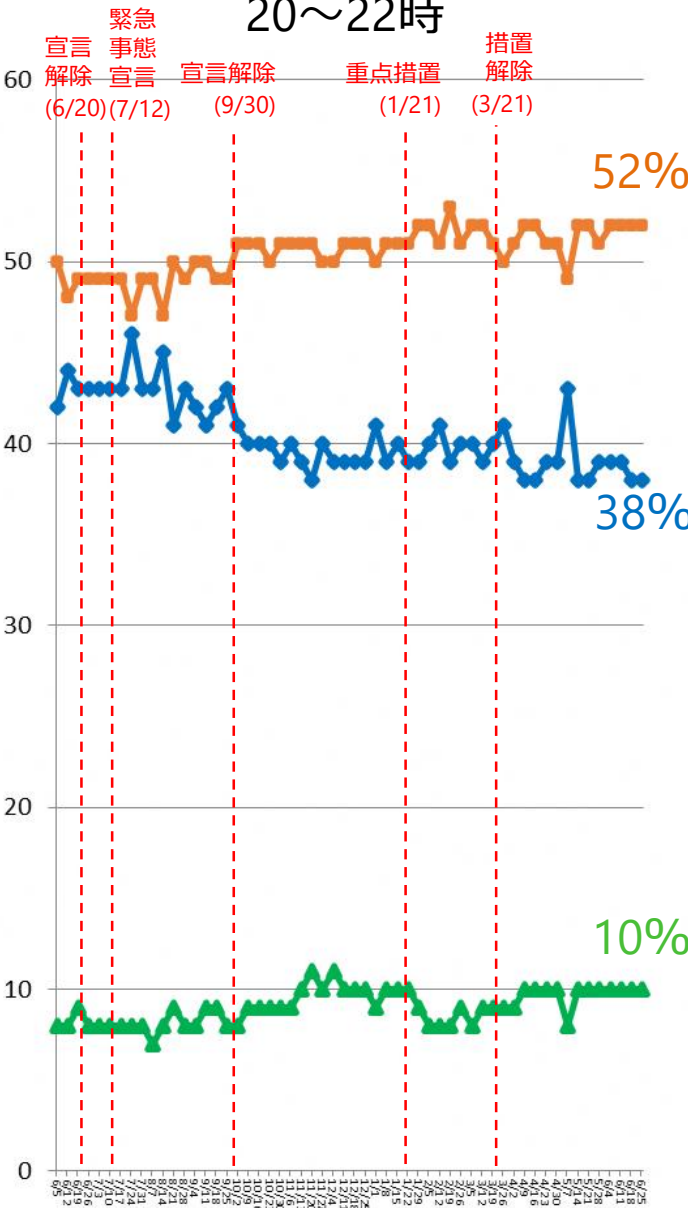
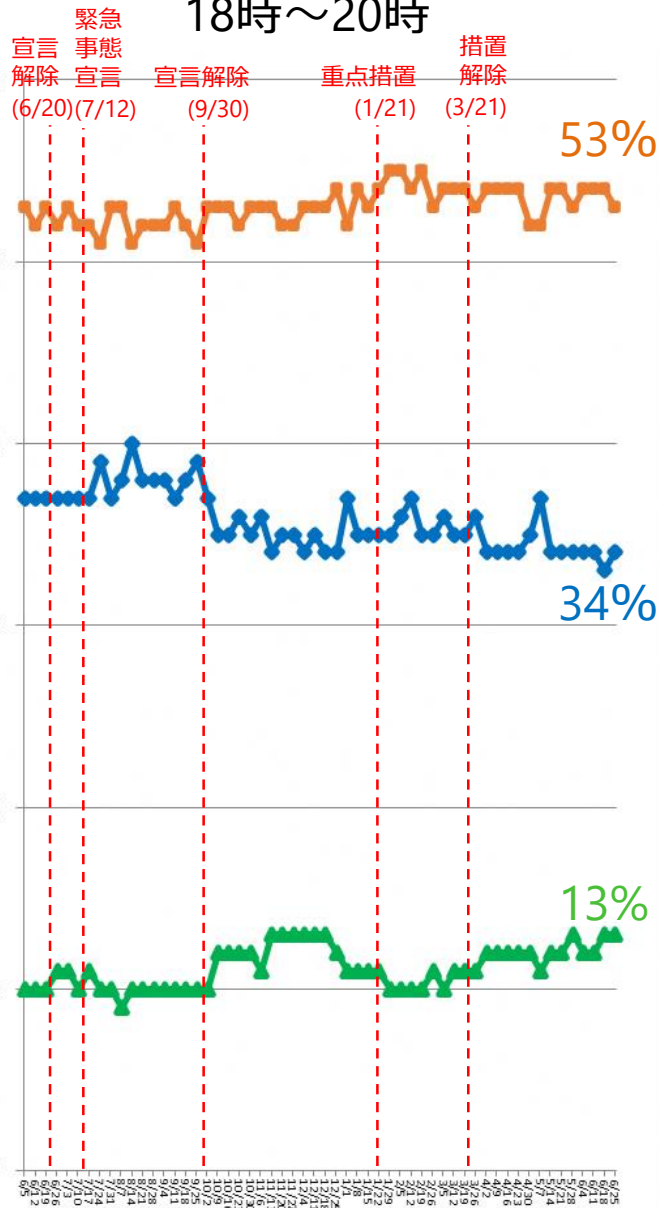
※グラフ日付は2019年の日付
LocationMind xPop © LocationMind Inc.

都内主要繁華街における夜間滞留人口の年代別占有率 (2021年6月1日～2022年6月25日)

18時～20時

20～22時

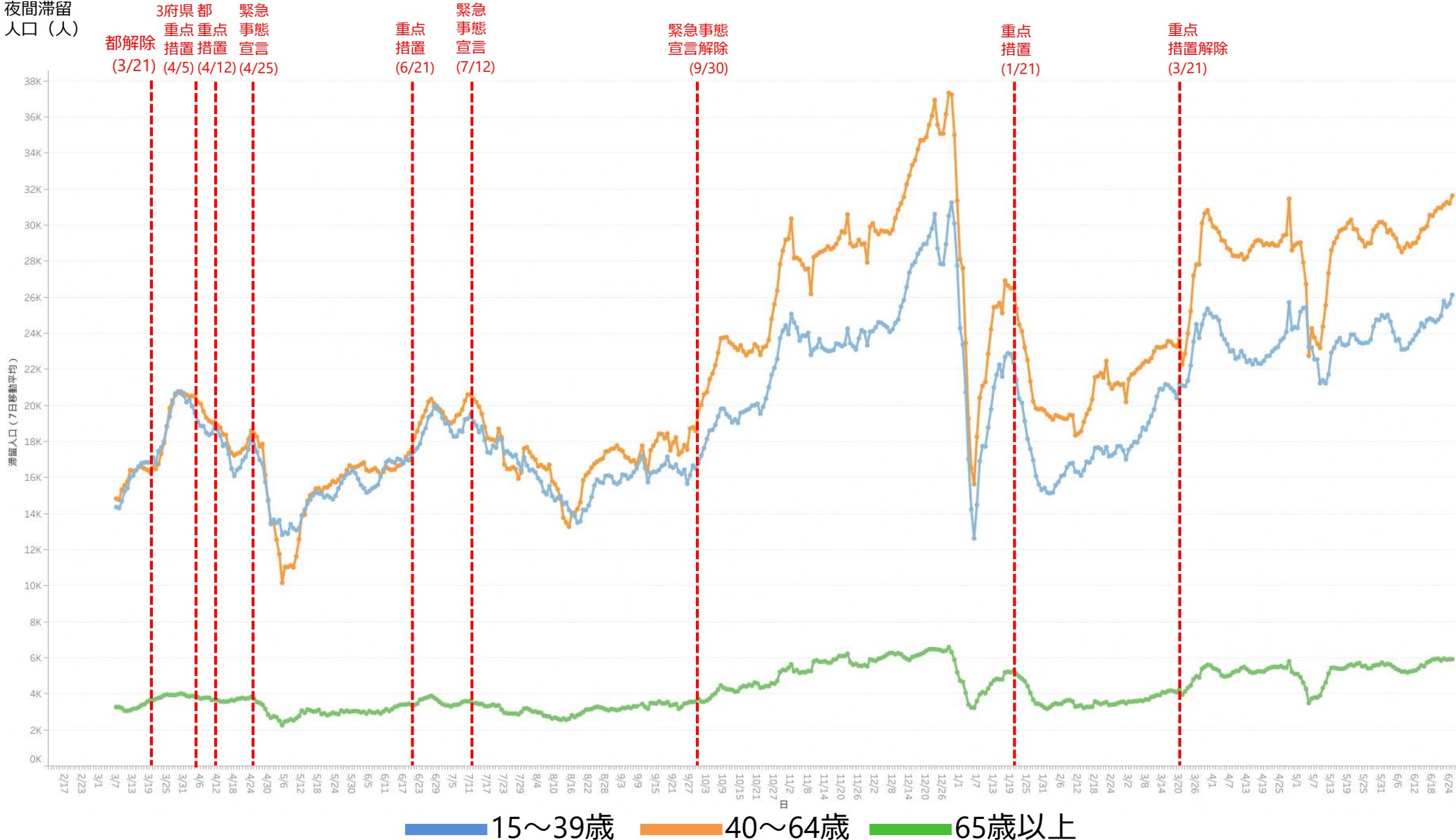
22～24時



年齢別夜間滞留人口推移 (22-24時・7日間移動平均：2021年3月7日～2022年6月25日)

対象繁華街：上野・銀座・六本木・渋谷
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

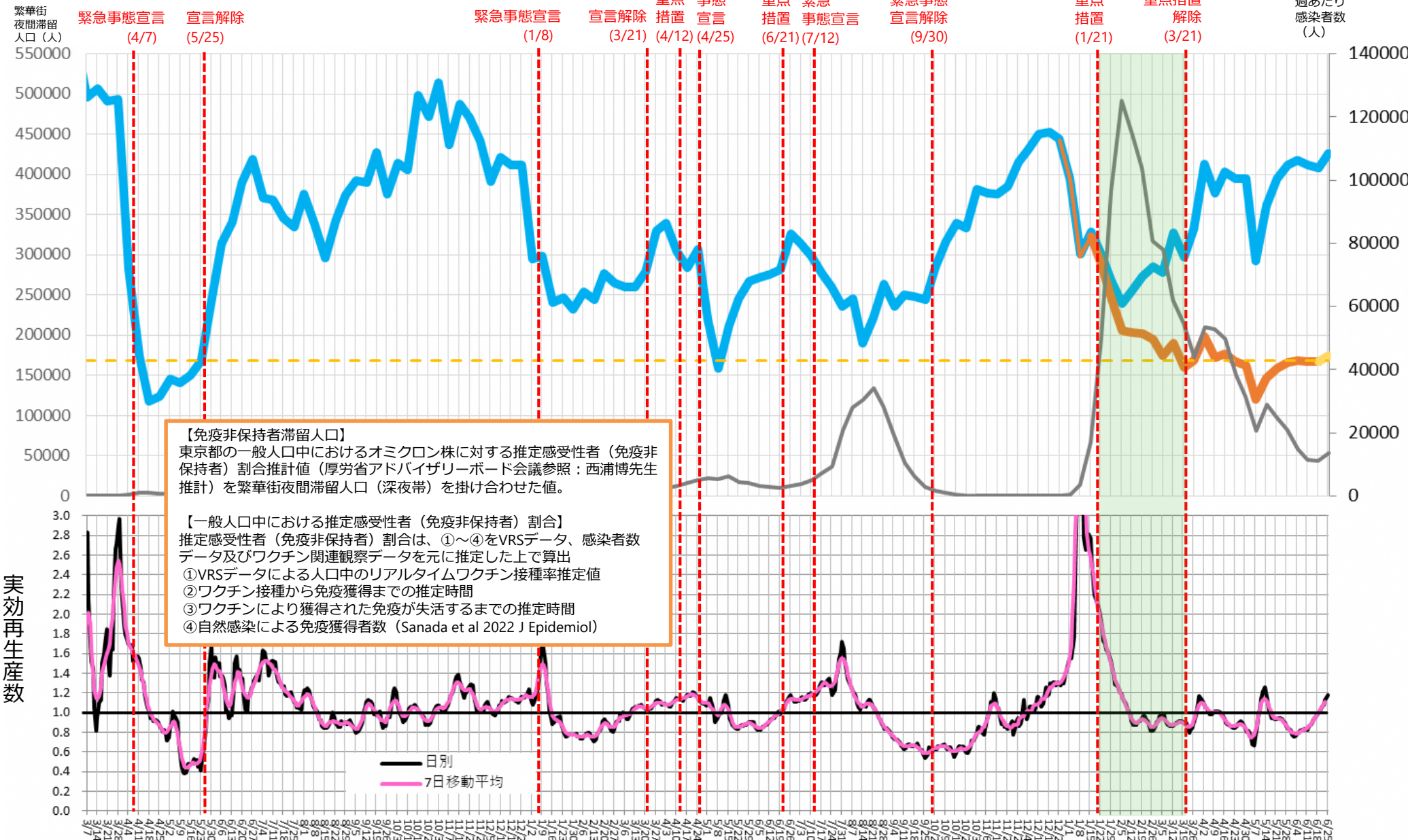
繁華街
夜間滞留
人口(人)



主要繁華街夜間滞留人口（実効滞留人口）の推計：東京（2020年3月1日～2022年6月25日）

対象繁華街：上野・銀座・六本木・渋谷
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

■ 滞留人口22-24時 ■ 新規感染者数（報告日） ■ 滞留人口22-24時 免疫非保持者（西浦先生試算）



ハイリスクな時間帯の繁華街滞留人口を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**主要繁華街に遊興目的で**

移動・滞留したデータを抽出 ※

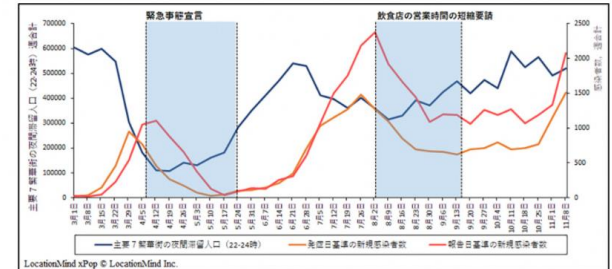
- ハイリスクな時間帯の滞留人口量を

1時間単位で推定(500mメッシュ単位)

- LocationMind ⇒ 都医学研

- 夜間滞留人口データとその後の

新規感染者数、実効再生産数との関連が報告されている ※※



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。

※※ Nakanishi M, Shibasaki R, Yamasaki S, Miyazawa S, Usami S, Nishiura H, Nishida A. On-site Dining in Tokyo During the COVID-19 Pandemic: Time Series Analysis Using Mobile Phone Location Data. *JMIR mHealth and uHealth*, 2021